



爆発により、屋根がめくれた倉庫 (8月24日午前、田所議員撮影)

# 米軍基地・相模総合補給廠に「危険物倉庫」が16棟も!

8月24日未明、J-R横浜線沿いの米軍基地・相模総合補給廠で爆発火災が発生し、市民を恐怖と不安に陥れました。米軍からの要請で駆けつけた市消防局は、倉庫内に何が保管されているかわからず、放水できませんでした。後日、米軍から火災調査の専門官が調査に入りましたが、未だに火災の原因は明らかにされていません。

党市議団の代表質問の中で、補給廠内に危険物倉庫が16棟もあることや、今回、爆発火災を起こした倉庫は「危険物倉庫」ではなく、一般倉庫であったことが明らかになりました。

## 市民の安全のためにも、日米地位協定の改定を!

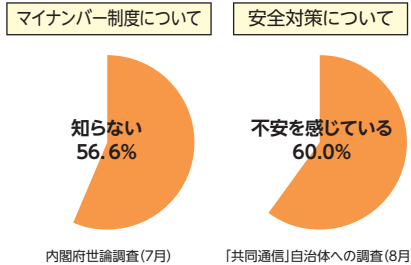
日本の税金である「思いやり予算」で建設される施設は、建設時は、日本の建築基準法や消防法に照らして、地元自治体が申請を受け付け、完了検査がおこなわれますが、その後、米軍が保管物を変更しても届け出の義務はなく、倉庫の内容を把握することはできません。

今回の爆発火災を受け市長は、「一つ間違えれば、大災害になる極めて遺憾な事態」と述べ、米軍に対し、基地内への立ち入り、日米地位協定の見直しや運用の改善を求めると表明。市議会も全会一致で国に対し、日米地位協定の見直しを求める意見書を提出しました。

### 一般質問より

## 不安が広がるマイナンバー制度は中止を!

10月下旬から個人番号の通知が開始されたマイナンバー制度。7月におこなわれた内閣府の世論調査では、約6割の人が「制度の内容を知らない」と回答。また、共同通信の調査では、6割の自治体が「安全対策に不安を感じている」と回答しています。



## 若者が希望を持てる社会へ

### 若者就労支援のさらなる充実を!

若者への就労支援や、ブラック企業で悩む人に対する相談対応やセミナー等の実施状況について質問し、さらなる充実を求めました。市では、「さがみはら若者サポートステーション」において、就労に困難を抱える若者に対するセミナーや就農体験を実施していることや、支援が必要な若者だけでなく、親など家族に対しても細かな支援をおこなっているとの回答がありました。



### 県内での「ふれあい収集」実施状況

実施している市	未実施の市
横浜市、川崎市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、伊勢原市、座間市、海老名市、綾瀬市	相模原市、横須賀市、大和市*、小田原市、南足柄市

\*大和市は、「ふれあい収集」は未実施だが、戸別収集を実施している

党市議団ではこれまでも、「ふれあい収集」の実施を求め、粗大ごみについては2011年8月に実現しました。そして今回、見守りをかねた一般ごみの「ふれあい収集」の実施を再度求め、市からは「実施の可能性について検討していく」との回答がありました。



## 安全確認をかねた「一般ごみのふれあい収集」実施を!

いま、ひとり暮らしの高齢の方で、一般ごみを集積所に出すことが困難になる方が増えています。こうした中、収集日に自宅の玄関前にごみを出していただく、戸別収集をおこなう、さらには、ごみが出ていくかどうかで安否を確認する「ふれあい収集」の取り組みが全国各地で広がっています。

### ご意見・ご相談は市議団へ

#### 緑区



田所健太郎 070 (5432) 7613

#### 中央区



松永ちか子 090 (7840) 1418

#### 南区



竹腰さなえ 090 (3008) 3945



山下伸一郎 090 (5814) 9020



羽生田がく 080 (1458) 2222

## 弁護士による無料法律相談

★第2木曜日 14時~16時  
市役所本館2階 党市議団控室

他の場所では ★毎月1日(土日は変更) 18時30分~  
★第3月曜(祝日は変更) 18時30分~

※日程変更にも場合もありますので、事前にご連絡ください